

静岡県本部だより

2021.4

VOL.
40

「小さな親切」運動

SMALL KINDNESS MOVEMENT SHIZUOKA



環境美化事業・クリーン作戦 川尻海岸の清掃 (2020.11.14)

2020年度下期の活動報告 (2020年10月～2021年3月)

「小さな親切」実行章

P1

フォーラム開催

P2

作文コンクール

P3・4

あいさつ運動

P5・6

里山づくり

P7

棚田保全活動

P7

クリーン作戦

P8

福祉施設支援事業

P8

支援活動・収集活動

P9・10

「小さな親切」実行章の贈呈

P11



「小さな親切」実行章贈呈事業 「小さな親切」実行章の推薦と贈呈

「小さな親切」実行章は、「小さな親切」運動発足以来続けている活動で、日常生活のさりげない親切や心あたたまる行いに、「ありがとう」の感謝の気持ちを込めて表彰するものです。2020年度は、手作りマスクの寄贈や医療従事者への感謝など、コロナ禍の中での親切な行いが多くあり、団体98先、個人71人に対し実行章を贈ることができました。

「小さな親切」実行章は、いつでも、どなたでも推薦できます。日常の中で何気なく行われている親切な行いを見かけましたら、推薦用紙に「いつ、だれが、どのような親切をされたか」をご記入のうえ、県本部事務局までご連絡ください。推薦用紙は「小さな親切」運動ホームページから印刷してご利用ください。



【2020年11月受章】
松並木と一里塚を守る会 様
三島市立錦田中学校 様
プレゼンター:望月隆生支部長
(静岡銀行三島支店 支店長)

偶数月の第3日曜日に、三島市谷田の国道1号線沿いで、並木道の清掃活動を25年間続けている。錦田中学校の生徒も、2001年から清掃活動に加わり、ゴミ拾いや草取りなどの作業を19年間続けている。



【2021年1月受章】
静岡英和女学院
中学校・高等学校 生徒会 様
プレゼンター:花崎誠支部長
(静岡銀行本店営業部 執行役員部長)

新型コロナウイルス感染防止の最前線で頑張っている医療担当者に、感謝の気持ちを伝えたいと、「感謝」の文字を書いた、縦1.5m、横3mの横断幕を作成し、静岡市立静岡病院に寄贈した。



【2021年2月受章】
静岡サレジオ高等学校 様
プレゼンター:木内藤男理事
(木内建設株式会社 代表取締役会長)

新型コロナウイルスの感染が続く中、医療従事者を応援しようと、ポリ袋を使った医療用ガウン、エプロンを500枚作成し、ボランティア協会を通して医療機関へ寄贈した。

10月から3月までの受章者一覧

(受章日順・敬称略)

受章月	受章者名・団体名	受章月	受章者名・団体名	受章月	受章者名・団体名
10月	株式会社土屋建設	1月	山本 翔夢	2月	佐藤 昭夫
	土屋 紀雄		山本 愛夢		藤原 百伽
	土屋 ふさ江		山本 聖愛		新通小バトロールボランティア
	富士市立須津中学校「小さな親切」委員会		富田 諭		富士宮さくや塾
	沢崎 正行		小泉 薫		牧之原市立相良中学校 生徒会
11月	静岡市立清水小学校	2月	コスモス会	3月	浜松市立都田中学校
	日本旅行業協会中部支部 静岡地区委員会		新神子区町内会		御殿場市立印野小学校 六年生
	大石 一磨		南条の里農地保全会		浜松市立大瀬小学校
	中山 延士		やきつば桜の里をつくる会		西萩間花の会
	仲村 年弘		シトラスリボンプロジェクト 浜松医大		静岡サレジオ高等学校
12月	静岡県立田方農業高等学校ライフデザイン科セラピーコース	2月	しらすぎの郷	3月	小泉 啓子
	松並木と一里塚を守る会		常葉大学附属橋中学校 生徒会		静岡県立天竜高等学校
	三島市立錦田中学校		菊川市立菊川東中学校		静岡県立清水西高等学校
	静岡県立沼津商業高等学校地域活性部ボランティア班 3年生有志		袋井市立袋井北小学校 六年生		昔の遊びの会
	朝倉 幸子		静岡英和女学院 中学校・高等学校 生徒会		東福田フラワーフレンド
12月	水口 まさ子	2月	小野口の会	3月	東富士見自主防犯バトロール隊
	沼津市立金岡中学校		赤堀 太祐		菊川市立岳洋中学校
	袋井市立袋井西小学校 六年生		深見 和子		富士宮市立東小学校
	女神花の会		有ヶ谷 ミチエ		沼津市立沼津高等学校 11HR
	さがら牧之原花の会		戸田 政吉		青島東ソフトボールスポーツ少年団
12月	池田美容学校	2月	杉山 優生	3月	
	おやじサロン「ぎやるそん」		田村 悠人		
	運転ボランティア そよかぜの会		永田 翔希		
	市民団体 なでしこ御殿場		山田 政寛		

広報活動 「第17回フォーラム」の開催

2020年11月13日(金)、静岡銀行研修センター(2階大会議室)で、「第17回フォーラム」を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小し、「あいさつ運動協力校の感謝状贈呈」と「作文コンクール入賞者の表彰」を実施しました。当日は、出野 勉静岡県副知事などの来賓をお迎えして、県本部役員、受賞者、関係者の皆さま約70名の方々にご参加いただきました。

フォーラムでは、県本部活動報告の後、2019年度から2年間あいさつ運動に取り組んでいる協力校11校(内出席8校)に対する感謝状の授与、作文コンクール入賞者の表彰状の贈呈を経て、県知事賞受賞者2名による作文の朗読が行われました。

「小さな親切」運動静岡県本部では、青少年(小・中学生)の心の育成事業として、あいさつ運動協力校によるあいさつ運動実践活動や「小さな親切」作文コンクールを実施しており、フォーラムにて感謝状・表彰状贈呈式を開催し、広報活動も行っています。



開会あいさつ
柴田代表



来賓あいさつ
出野副知事



感謝状の授与
2019年度指定あいさつ運動協力校



感謝状の授与
2019年度指定あいさつ運動協力校



2019年度指定あいさつ運動協力校の皆さま



閉会あいさつ
神原副代表



あいさつ運動協力校贈呈式出席者記念撮影

青少年心の育成事業 静岡県本部主催 第8回「小さな親切」作文コンクール

静岡県本部主催第8回「小さな親切」作文コンクールを開催しました。コンクールは、5月下旬に募集要項を発表、今回のテーマは「小さな親切」「世界との出会い～ありがとう、どういたしまして～」でした。県内の小学生、中学生を対象に募集し、9月中旬に締め切り、112校から2,422編の応募がありました。応募作品の中から、審査員による厳正なる審査の結果、各賞を決定し、11月13日(金)に行われた「第17回フォーラム」の席上で、入賞者表彰式及び県知事賞受賞者による朗読を実施しました。また、3月には作品集を発刊し、県内の小・中学校などに配布しました。

この作文コンクールを通して、子どもたちの心の中に、小さな親切や思いやりの心を感じていただける豊かな心を育む活動を続けていきたいと考えています。



静岡県知事賞 相川瑠菜さん



静岡県教育長賞 相馬隆之介さん



「小さな親切」運動静岡県本部賞
宮口かほさん



金賞 佐藤良磨さん



銀賞 山本夏菜さん



静岡県知事賞 松野二久さん
作文朗読のようす



作文コンクール表彰式出席者記念写真

第8回「小さな親切」作文コンクール入賞・入選者

賞	学校名	学年	名前	性別	題名
静岡県知事賞	浜松市立都田南小学校	1年	松野 二久	男	がまんのはなと やさしさのはな
静岡県教育長賞	磐田市立磐田北小学校	5年	相馬 隆之介	男	親切の温度
「小さな親切」運動静岡県本部賞	長泉町立長泉小学校	3年	宮口 かほ	女	パパってかっこいい!
金賞	静岡市立大里西小学校	2年	近藤 翼	女	「がんばれ」がくれた力
金賞	浜松市立三方原小学校	4年	林 柳社	男	ぼくの朝
金賞	浜松市立赤佐小学校	2年	平野 博彬	男	なかむらてつさんとおばたはるおさん
銀賞	浜松市立伊佐見小学校	4年	鈴木 香緒	女	やさしさのリレー
銀賞	浜松市立雄踏小学校	1年	高田 悠仁	男	トロロのぬいぐるみありがとう
銀賞	浜松市立有玉小学校	6年	中野 光陽	男	折り紙とおじさん
入選	浜松市立三方原小学校	4年	桑原 昂	男	めぐりめぐって
入選	浜松市立上島小学校	6年	坂口 智彦	男	勇気はつながらる世界でも
入選	浜松市立豊岡小学校	6年	杉山 心花	女	本当の親切
入選	浜松市立都田南小学校	5年	鈴木 峻太	男	行動する勇気
入選	浜松市立三方原小学校	4年	高瀬 叶真	男	ぼくが目指す温かな気持ち
入選	浜松市立都田南小学校	6年	高林 優衣	女	こうかいた親切
入選	浜松市立浜名小学校	1年	竹内 絢名	女	いいことあつめ
入選	浜松市立庄内小学校	5年	塚本 健介	男	笑顔を運ぶ「小さな親切」
入選	浜松市立三方原小学校	4年	寺田 英礼	女	わたしと世界のつながり
入選	富士市立伝法小学校	4年	原 日茉莉	女	心の勇気でできた友達
入選	浜松市立三方原小学校	4年	宮崎 帆希	女	小さな親切でうれしいな
入選	浜松市立佐鳴台小学校	3年	山崎 蘭	女	分け合う気持ち
入選	富士市立富士第一小学校	6年	若月 瑛伶奈	女	あなたの言葉で世界は変わる
静岡県知事賞	静岡市立安東中学校	3年	相川 瑠菜	女	小さな男の子が気づかせてくれたこと
静岡県教育長賞	静岡大学教育学部附属島田中学校	2年	久保田 新菜	女	バスに揺られて
「小さな親切」運動静岡県本部賞	静岡市立長田南中学校	2年	池ヶ谷 夏輝	女	「桃ちゃん」と私
金賞	静岡市立蒲原中学校	1年	栗原 微始	女	親切になる勇気
金賞	浜松市立高台中学校	3年	佐藤 良磨	男	寄り添ってくれた親切
金賞	静岡県立浜松西高等学校中等部	2年	法月 雪華	女	変わる親切のカタチ
銀賞	静岡県立豊田中学校	3年	生田 碧衣	女	返事
銀賞	静岡県立浜松西高等学校中等部	3年	駒田 恵	女	「小さな親切」と「マーク」
銀賞	静岡市立長田西中学校	2年	山本 夏菜	女	祖父が続いている親切
入選	静岡市立蒲原中学校	2年	浅野 静津紅	女	母の勇気
入選	静岡市立蒲原中学校	2年	石川 渚彩	女	人助けの嬉しさ
入選	静岡市立蒲原中学校	2年	伊丹 稔里	女	心を思いやって
入選	富士宮市立富士宮第一中学校	3年	遠藤 碧真	男	交通整理のおじちゃん
入選	静岡市立蒲原中学校	2年	大岩 優月	女	勇気
入選	静岡県立浜松西高等学校中等部	2年	神谷 一花	女	繋がる親切と感謝
入選	静岡市立東豊田中学校	2年	北澤 来夢	女	小さな親切は大きな変化へ
入選	静岡市立蒲原中学校	2年	久保田 華	女	勇気を出して…
入選	静岡県立浜松西高等学校中等部	3年	児玉 和華子	女	「親切」の一方通行
入選	静岡市立竜爪中学校	3年	佐々木 萌	女	私も
入選	静岡市立蒲原中学校	2年	杉山 リリ香	女	ありがとう
入選	浜松市立佐鳴台中学校	2年	鈴木 このみ	女	幸せ拾い
入選	学校法人藤枝学園藤枝明誠中学校	1年	鈴木 里桜	女	親切をためらわないために
入選	浜松市立中部中学校	3年	高山 柊人	男	親切で救われた命
入選	静岡市立蒲原中学校	2年	玉川 月詩	女	尊敬したあの男性
入選	静岡市立竜爪中学校	3年	堀川 唯	女	感謝の気持ち
入選	学校法人星美学園静岡サレジオ中学校	1年	前川 夏菜	女	一つのやさしさが大きなげまじに
入選	静岡市立清水第二中学校	1年	松下 真奈	女	小さな親切
入選	静岡市立蒲原中学校	2年	宮原 こころ	女	一つの出会い
入選	島田市立島田第一中学校	2年	森田 美玖	女	支え合う事の大切さ
入選	静岡市立清水両河内中学校	1年	山崎 倅来	女	国境を越えた優しさ
入選	学校法人星美学園静岡サレジオ中学校	1年	吉富 碧	女	ゴミをちょっと拾う
入選	浜松市立清電中学校	3年	和田 有未	女	思いやりの心・おもてなしの精神を世界へ

(敬称略)

■3月に作品集を発刊しました

作品集には、入賞・入選作品54編と県本部の主な活動の紹介、実行章の推薦用紙が掲載されています。作品集を希望される方は事務局までご連絡ください。この作品集を読まれた多くの皆さまに、子どもたちの純粋な心が届くことを心から願っています。

また、本年も第9回「小さな親切」作文コンクールを開催します。県内小学校、中学校の児童生徒の皆さんの多くの応募をお待ちしています。



青少年心の育成事業 2020年度指定あいさつ運動協力校活動報告

毎年県内の4地区であいさつ運動協力校(実践活動期間:2年間)の活動を応援しています。啓発グッズの横断幕やのぼり旗、タスキを贈り、各中学校区で小学生と中学生が一丸となって明るいあいさつの飛び交うコミュニケーション豊かな地域づくりに取り組んでいます。

2020年度からあいさつ運動に取り組んでいる、13校の1年間の活動の様子をご紹介します。

静岡地区



伊東市立北中学校

今年度はコロナウイルス対策の関係で、本校の生徒会本部の生徒が毎年参加している伊東市の一斉あいさつ運動や、伊東駅前でのあいさつ運動が中止となりました。そのため、今年度の本校の取組としては、毎週木曜日の朝に生徒会本部役員、各専門委員長、学年委員長が中心となって行っている校内のあいさつ運動だけでした。あいさつ運動終了後には、気持ちのよいあいさつをしていた生徒を生徒会本部の生徒が選び、校内放送で発表することで、全校生徒のあいさつへの意欲向上を目指しています。



伊東市立西小学校

児童会本部役員が中心となり、目標「ハッピーニッシー～明るいあいさつ・優しい言葉遣い・話を聴く～」達成に向けて年間を通してあいさつ運動を行ってきました。児童会で話し合いを重ね、「あいさつを広げようカード」「あいさつビンゴカード」、他にも「おはようせいイベント」や「こんにちわっしょいイベント」など、様々なイベントを企画、提案し、全校で取り組みました。今年度の活動を通して、高学年を中心に「おはよう」や「こんにちわ」のあいさつが自然にできる児童が増えました。

静岡市



静岡市立末広中学校

5月まで断続的に休校が続いたため、6月からようやく活動を始めることができました。毎朝、校門付近や学校から少し離れた交差点で活動を行いました。マスクを着用しての活動でしたので、生徒たちは「声が届きにくい」「表情が分かりづらい」と感じ、会釈を付け加えるなどの工夫をして活動に取り組んでいました。12月には、学区の小中学校であいさつ運動について共通アンケートを実施。その結果について児童生徒の代表者がリモート会議を行い、各学校の成果や課題、今後の活動について具体的に話し合うことができました。



静岡市立番町小学校

本校では、児童会が主体となり、「3つの『あ』」(あいさつ・あとしまつ・あつまり方)を合言葉に、特にあいさつに重点を置いた取組を進めました。全校からボランティア児童を募ってあいさつ隊を編成したり、清掃時のあいさつを楽しく意識付けするために、すぐろく形式の活動を企画したりするなど、各委員会が楽しく工夫した実践を行いました。今後も児童の主体性を大切に取組を推進し、あいさつの響き渡る学校にしていきたいと思えます。



静岡市立新通小学校

学級であいさつについて話し合い、1年生は「たくさんの人に」、6年生は「会釈をして、一言添えて」など、学年ごとにあいさつのめあてを決めました。1年生は朝から校舎内を歩き、上級生に元気よくあいさつをするなど、各学年の取組で学校中にあいさつが響いています。また、児童会が中心となって放送であいさつがよかった子を紹介しました。名前だけでなく、「目を見て」「大きな声で」など、その子のあいさつのよさを伝えています。今後も活動を続け、明るい学区・地域を目指していきます。



静岡市立安西小学校

「心にあいさつ5本柱(①おはようございます②おねがいします③ありがとうございます④ごめんなさい⑤さようなら)を立てよう」を合言葉に、子どもの発想や主体的な活動を尊重した取組を進めてきました。「安西あいさつひびかせ隊」の取組では、学級ごと一週間交替で、全校児童がたすきを肩にかけ、毎朝正門や昇降口で、元気よくあいさつを交わしています。また、毎週水曜日には、のぼり旗を設置し、地域の方にもあいさつの輪を広げる活動を行っています。「あいさつが自慢の学校」という安西小の良き伝統を守り、さらに広げていきます。

静岡地区



吉田町立吉田中学校

前期は生徒会スローガン「ピース～ともに創る～」の実現を目指して「あいさつ運動」を実施しました。生徒一人一人が助け合い、協力し合うことで素晴らしい吉田中学校をともに創ってほしいという願いを「ピース」に込めて活動しました。

後期からは、生徒会スローガン「ライト～自ら輝き照らし合う～」の具体化に取り組みました。特に生活委員会は独自のスローガン「スター～輝く毎日～」に基づき、各学年目標を設定して昇降口であいさつ運動を行っています。



吉田町立住吉小学校

児童会では、例年取り組んでいる活動ができないため、「気持ちのよいあいさつ」を目標に、自分たちでできるような活動として、運営委員がポスターを作り、それを手に持ち、昇降口の外で適切な距離を保ちながらあいさつ運動に取り組みました。また、PTA本部役員が、子どもたちを元気にする活動として、毎週月曜日に昇降口前であいさつ運動に取り組みました。年度当初はなかなかあいさつが聞こえなかったのですが、最近は元気なあいさつが響いています。



吉田町立中央小学校

本校では、児童会の運営委員会が中心となってあいさつ運動を展開しました。本年度は、気持ちのよいあいさつができた子を認め合う「あいさつの木」に取り組みました。1回目のあいさつの木は、気持ちのよいあいさつができた子を「葉」の形をした学年色のカードに記入し、枝に貼っていきました。この「あいさつの木」は、色とりどりの葉でいっぱいになりました。2回目の「あいさつの木」には、あいさつの花が咲き、3回目の「あいさつの木」には、あいさつの星が輝いています。



吉田町立自慢小学校

児童会では、活動の目玉の一つとして「あいさつ自慢の学校」を目指してきました。あいさつ自慢の学校を目指すにあたり、子供たちの意欲的に活動に取り組む姿や創意が生かされた活動が見られました。代表委員会では、気持ちよいあいさつが飛び交うための取組について活発に話し合われました。また、児童会で作られた「あいペン(あいさつペンギン)」のキャラクターは全校に広まっています。あいさつ自慢をめざす活動は、子供同士のよりよい関わりに繋がっています。

浜松市



浜松市立三方原中学校

今年度は、コロナ感染症対策のため3密を避けてマスクの着用が必須の状況でしたが、教職員による正門等での登下校時のあいさつ指導以外に、PTAのあいさつ運動ボランティアや生徒会中心の縦割りあいさつ運動に取り組みました。体育大会や文化発表会などの各種行事を機会に、生徒の縦割りの意識が高まり、3年生と1・2年生が一致団結して取り組むことにより、爽やかなあいさつの交流も、先輩から後輩へと良き伝統として受け継がれていく様子が見られました。



浜松市立豊岡小学校

運営委員会と生活安全委員会が中心となり、毎朝校門や昇降口前であいさつ運動を行いました。今年度はコロナ感染症対策で、3密を避けたあいさつ運動を子供たちが考えて実践しました。委員一人一人が作成したあいさつポスターを手に持ち、マスクを着用し、笑顔でお辞儀をしたり、雨の日は廊下にテレビを置き、特別教室からリモート機能を使ってあいさつをするなどの工夫をしました。豊岡小のイメージキャラクターである「とよじゃがマン」「幸子さん」「豊神様」もあいさつ運動に参加して盛り上げました。



浜松市立三方原小学校

「あいさつ運動」は、人間関係形成・社会形成能力を育む取組として、生活安全委員会と運営委員会の児童が中心となって取り組みました。委員会や当番の学級の子供たちが門で元気よくあいさつし、花のアーチやあいさつを促すカードを持ち、登校して来る友達を迎えました。リモートによる朝会では、運営委員会児童があいさつキャラクターに扮して劇を行い、「あいさつ」の必要性や大切さを全校児童に伝えました。また、明るいあいさつのできた子の名前を校内に掲示・放送することにより、昨年度より明るいあいさつのできた子が増えています。

環境保全事業 里山づくり(植樹や森林整備の活動)

次世代に残す里山づくりを目指し、静岡県環境ふれあい課が主催する森づくり県民大作戦に参加する団体と連携して、植樹や森林整備の活動を実施しています。下期は、15会場で635人の会員が参加しました。植樹や伐採のやり方などは、森づくり団体の皆さまにご指導いただき、参加した方々と協力して活動を行いました。



伊豆の国市・葦山支部(2020.10.24)
伊豆の国緑と水を守る会
鳴滝ビュウ付近竹林
竹の間伐、下草刈り



浜松市中区・住吉支部(2020.11.7)
奥の平ホテルの里と連携
椎の木谷緑地
森林整備



沼津市・沼津駅北支部(2020.11.14)
NPO法人環境整備・森と竹で健康クラブと連携
沼津市千本悠久の森
枯枝集め



静岡市葵区・しずはた支部(2020.11.15)
賤機山に花の咲く樹を育てる会と連携
賤機山
山桜、くぬぎ、こなら等の植樹



伊東市・伊豆高原支部(2020.11.21)
城ヶ崎海岸の松と自然環境を守る会と連携
城ヶ崎海岸ビュウカコス隣接地
枝打ち、下草刈り



湖西市・湖西支部(2020.12.5)
湖西フロンティア倶楽部と連携
不動谷の森
歩道整備、除伐、下草刈り

環境保全事業 棚田保全活動

「日本の豊かな自然と景色を子どもたちに残したい」との地元の方々の思いに応え、松崎町石部と菊川市上倉沢せんがまちの棚田オーナーとなり、棚田保全活動に参加しています。棚田を守ることで、自然の大切さを子どもたちに伝えるため活動しています。収穫したお米は、児童福祉施設などへ寄贈しています。

■石部棚田



松崎町・松崎支部(2020.10.3)



稲刈り、収穫



聖和保育園でのお米の贈呈式(2020.11.4)

■せんがまち棚田



菊川市・菊川支部(2020.10.24)



稲刈り、収穫



東遠学園でのお米の贈呈式(2020.12.23)

環境美化事業 第2回グリーン作戦の実施(10月~12月)

第2回グリーン作戦は、県内61会場で1,764人の参加があり、河川海岸の清掃活動や商店街、公園、駅周辺などの地域密着型の活動を行いました。なお、第3回グリーン作戦(1月~3月)につきましては、新型コロナウイルス感染急増に伴い、感染拡大防止の観点より活動を中止としました。



清水町・清水町支部(2020.10.24)
清水町総合運動公園周辺の清掃



静岡市葵区・呉服町支部(2020.11.8)
安倍川河川敷の清掃



富士市・富士駅南支部(2020.11.14)
JR富士駅南側周辺の清掃



磐田市・磐田支部(2020.11.14)
大池遊歩道周辺の清掃



静岡市駿河区・東静岡駅支部(2020.11.15)
マークスザタワー周辺の花植え



下田市・下田支部(2020.11.21)
下田市大川端万ヶ戸の花の入替え



浜松市中区・浜松営業部支部(2020.11.28)
都田川河川敷の清掃



牧之原市・相良支部(2020.12.5)
相良サンビーチの清掃



森町・森町支部(2020.12.5)
遠州森駅周辺の清掃

福祉施設支援事業 車いす等寄贈と施設内奉仕活動

グリーン作戦の一環として、福祉施設の奉仕活動を行い、車いす等の寄贈も行いました。奉仕活動は、各施設のご要望を伺い、窓拭きや花壇の手入れなどを行いました。寄贈品は、車いすのほか、介護する方々や利用者にとって必要な医療機器を施設のご希望に沿って寄贈しています。



御殿場市・御殿場東支部(2020.10.17)
社会福祉法人野菊寮
施設内の清掃



御前崎市・御前崎中央支部(2020.11.7)
特別養護老人ホーム灯光園
チューリップの植え込み



掛川市・大東支部(2020.11.28)
特別養護老人ホーム大東苑
施設外側の窓拭き等

支援活動

「小さな親切」運動静岡県本部では、支援活動の一環として、静岡県内で活動するボランティア団体等へ継続的に寄附を行っております。

● 医療従事者等に活用するための「新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金」を支援

2020年度は新たに、コロナ禍における支援として、「新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金」に20万円を寄附しました。

静岡県は、新型コロナウイルス感染症の最前線で活躍している医療従事者や、高齢者・障害者福祉施設等の従事者などへの支援のため、「新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金」を2020年5月に設立し、寄附金を募集しています。寄附金は、医療従事者等への応援金の支給、高齢者・障害者・児童福祉施設等の従事者や妊婦の方の感染症検査体制の充実、そのほか県民生活の支援などに活用されます。



出野副知事、後藤副代表

● 静岡県内で活動するボランティア団体等へ継続的に支援

自殺防止の最前線で多数のボランティアが活動する「静岡いのちの電話」「浜松いのちの電話」、盲導犬不足解消のため繁殖機能を有する盲導犬の里「富士ハーネス」(公益財団法人日本盲導犬協会)、被災地のボランティア活動等を推進している「静岡県ボランティア協会」にそれぞれ20万円ずつ寄附しました。

心の国際交流事業 ベルマーク収集活動

年間を通して、ベルマークの収集活動を行っています。多くの皆さまから集められたベルマークは、浜松市のオイスカ高校のベルマーク預金を通じて、途上国の植林と環境教育支援に活用されます。

ベルマークの収集はどなたでも気軽にできるボランティアです。仕分け作業や集計作業は必要ありませんので、ベルマークを切り取って袋に入れ、お送りください。

岳南建設株式会社の皆さま

地域の皆さまに支えられ、弊社は2019年に創業100周年を迎えることができました。ベルマーク、使用済切手の収集、クリーン作戦等、微力ではありますが、地域社会の一員として、これからも「小さな親切」運動に参加させていただきます。



心の国際交流事業 使用済切手と書き損じハガキの収集活動

使用済切手と書き損じハガキの収集活動を行なっています。2020年度も多くの皆さまのご協力をいただき、使用済切手264先から約201Kg、書き損じハガキ2,986枚を集めることができました。

使用済切手は、公益財団法人ジョイセフに贈り、途上国の女性や子どもたちの暮らしをサポートします。書き損じハガキは、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会へ贈り、途上国の幼児教育における質の改善事業に活用されます。

収集の注意点

使用済切手

※切手は重量で取引されます。
※未使用の切手は対象外です。



●封筒に貼られた切手と消印の周辺を1cm程度残して切り抜いてください。
切手部分のみを切り抜いたものは対象外です。



●長い消印の場合は、日付と地名が1つずつ残るように切ってください。



●封筒の裏側は切り取り、表面だけを送ってください。



●切手の代わりに押されたメータースタンプは収集対象外です。

書き損じハガキ

※切手部分に汚損があるものは対象外です。

- ハガキの裏や表を書き損じた、あるいは未使用のハガキで、未投函のものが対象です。
- ハガキに住所や名前の個人情報の記入がある場合は、必ずマジック等で塗りつぶしてください。

株式会社ピーオーテクノサービスの皆さま

私たちは、「小さな親切」運動の1つの活動として、使用済切手の収集を継続してきました。この身近に出来る小さな活動が集まり、今後も意義のある社会環境改善へと結びつく協力を継続していきます。



収集物の送付方法

静岡銀行本・支店窓口へお持ちいただく場合

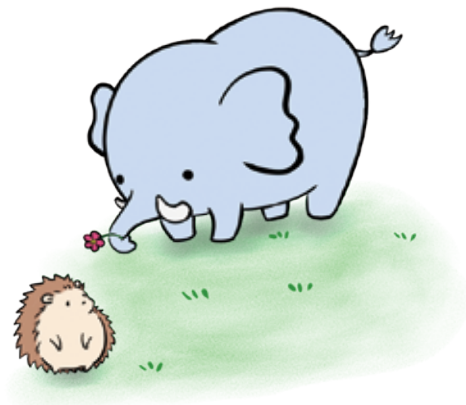
- 封筒などに入れ、宛名を「小さな親切運動静岡県本部行き」とし「ご住所、お名前」をご記入のうえ窓口係へお渡しください。

事務局へ郵送する場合

- 封筒などに入れ、「ご住所、お名前」をご記入のうえ「小さな親切」運動静岡県本部までお送りください。

「小さな親切」実行章の贈呈

心あたたまる親切に出会ったら^{すいせん}推薦してください



「小さな親切」実行章は、日常生活のさりげない親切や心あたたまる行いに、「ありがとう」の感謝の気持ちを込めて表彰するものです。この活動は「小さな親切」運動が発足した昭和38年以来続けている大切な活動の一つで、実行章を贈ることで地域社会に「思いやりの心」を広めることを目指しています。

「小さな親切」実行章の推薦は、いつでも、どなたでも行うことができます。皆さまが受けた親切だけでなく、見たり、聞いたりしたことでもかまいません。日常生活の中で何気なく行われている親切な行いを見かけましたら、推薦用紙に「いつ・だれが・どのような親切を行ったか」をご記入の上、「小さな親切」運動静岡県本部までお送りください。皆さまからの推薦をお待ちしております。

● ● ● 「小さな親切」実行章の推薦から受章までのながれ ● ● ●

1 親切な方を見かけたら 親切に出会ったら

清掃活動と 美化活動

- 公道、駅周辺、河川、海岸などの清掃をしている。
- 花を植栽し、皆を楽しませている。

たとえばどんな親切な方を推薦したらいいの？

見守り活動と パトロール

- 子ども達の通学の見守り活動をしている。
- お年寄り宅を訪問し、安否確認をしている。

慰問活動

- 福祉施設や病院などを訪問し、交流活動を行っている。

手助け

- 荷物を運んだり、道案内など、困っている人の手助けをした。

2 推薦文を書く

いつ・だれが・どのような親切を行ったかを記入し、以下のいずれかの方法で「小さな親切」運動静岡県本部へ送ってください。

FAXで送る

郵便で送る

HPから送る

3 受章の決定・発表・贈呈

- ・推薦用紙を「小さな親切」運動静岡県本部から「小さな親切」運動本部(東京)へ
- ↓
- ・本部(東京)の選考委員会にて受章者を決定
- ↓
- ・受章者と推薦者に静岡県本部からご連絡
- ↓
- ・受章された方へ賞状を贈呈

【静岡県本部事務局】 〒424-8677 静岡市清水区草薙北2番1号 静銀総合サービス(株)内
 TEL.054-347-3712 FAX.054-344-0401
 ホームページアドレス <http://www.across.or.jp/kindness/>



本誌に使用の新聞記事・写真などは、各新聞社の許諾を得て転載しています。無断で複製、送信、出版、頒布、翻案等著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

